

南アフリカ為替週報

2023年4月13日 | みずほ銀行欧州資金部

<過去1週間の動き> (4月6日～4月12日)

USD/ZAR: 18.0246～18.5386

ZAR/JPY: 7.18～7.30 (参照値)

過去1週間の南ア・ランド相場は対ドルで小幅に反落。先週には南アフリカ準備銀行(SARB)による市場予想を上回る50bpの利上げもありランドは買われたが、今週は上昇の勢いは続かなかった。とりわけ、4月7日発表の3月分の米雇用統計を受けた米金利上昇・ドル高によって新興国通貨全体に下落圧力がかかったことが要因として大きいだろう。もっとも、対ドルで見たランドの過去1週間の軟調な展開は、グローバルなドル買戻しの裏返しという側面が強く、対円ではドル円の上昇もあり、ほぼ横ばいとなった。

過去1週間に発表された経済指標は、電力不足の経済への悪影響を改めて意識させるものとなった。4月6日に発表された2月分の電力消費・電力生産はそれぞれ前年同月比-8.7%、同-9.7%と大幅な落ち込みとなった。4月11日に発表された2月分の製造業生産も同-5.2%と落ち込んでいる。来週には4月13日と4月19日にそれぞれ2月分の鉱業生産と小売売上高が発表されるが、電力不足の影響もあり製造業生産と同様に落ち込む公算が大きい。

電力不足の影響は様々な経路を通じてランド相場にも悪影響を及ぼすリスクがある。(1)南アフリカの主力輸出品である鉱業製品(プラチナや金、鉄鉱石など)の産出抑制、(2)製造業活動の停滞・供給網の寸断によるコスト増がインフレ率・インフレ期待の高まりにつながり実質金利が低下、(3)電力不足を背景とする経済活動の停滞に伴う国債の信用力の低下、といった経路が挙げられる。電力不足は2月26日にピークをつけてその後は緩和に向かいつつあったが、4月13日には再び大規模な電力供給の制限が行われると発表されており、電力不足の問題には収束の兆しが見られなくなってしまう状況だ。

<過去1週間に発表された主要経済指標等>

月日	GMT	指標	期間	予想*	実績	前回
4/6	12:00	電力消費(前年比)	2月		-8.7%	-7.3%
	12:00	電力生産(前年比)	2月		-9.7%	-8%
4/11	12:00	製造業生産(前年比%)	2月	-3.7%	-5.2%	-4.1%

(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

<向こう1週間の見通し> (4月13日～4月19日)

USD/ZAR: 17.50～18.60

ZAR/JPY: 7.00～7.60

向こう1週間の南ア・ランド相場は底堅い展開を予想。上述のように、電力不足は本質的には通貨安要因だが、よほど状況が悪化しない限りは、市場ではこの問題は織り込み済みとして受け流される可能性が高いだろう。目下、為替市場では各国個別のファンダメンタルズよりもむしろ、金利差がより重要な要因として機能していると思受けられるためだ。実際に、米欧の金融システム不安が後退した3月中旬以降、ハンガリー・フォリントやブラジル・リアルといった、他新興国と比較しても顕著に金利の高い国の通貨が(悪化したファンダメンタルズに関わらず)堅調を維持している。つまり、米FRBをはじめ主要国中央銀行の利上げ停止が近いという見方が市場で広がるなかで、新興国市場ではキャリートレードをはじめ高金利に着目した取引が拡大している、という見立てである。4月12日発表の米CPIの伸びが市場予想を下回ったことを受けて市場は米金利低下・ドル安で反応しており、この流れが当面は続く可能性が高いだろう。

<向こう1週間に発表予定の主要経済指標等>

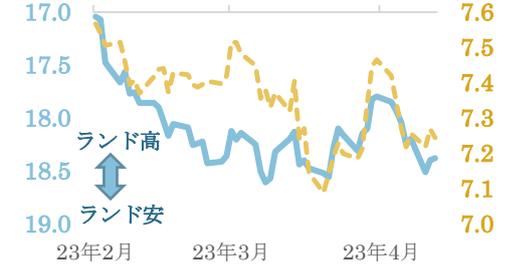
月日	GMT	指標	期間	予想*	実績	前回
4/13	10:30	鉱物生産量(前年比%)	2月	-3.0%		-1.9%
4/19	09:00	CPI(前年比%)	2月			7%
4/19	12:00	小売売上高(前年比%)	2月			-0.8%

(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

南ア・ランドの推移

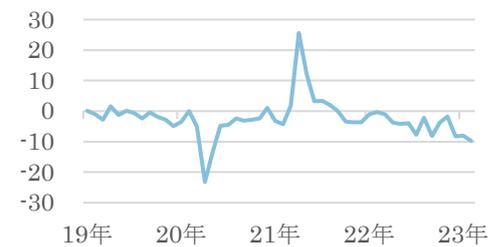
実線: 対ドルレート(左軸、逆目盛)

点線: 対円レート(右軸)



南アフリカ 電力生産

(前年比%)



南アフリカ 製造業生産

前年比(左軸)

指数(右軸)



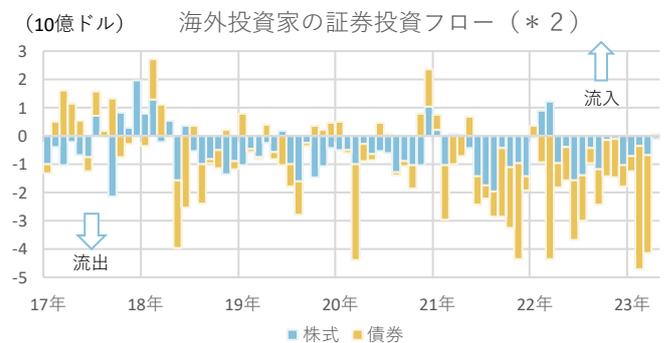
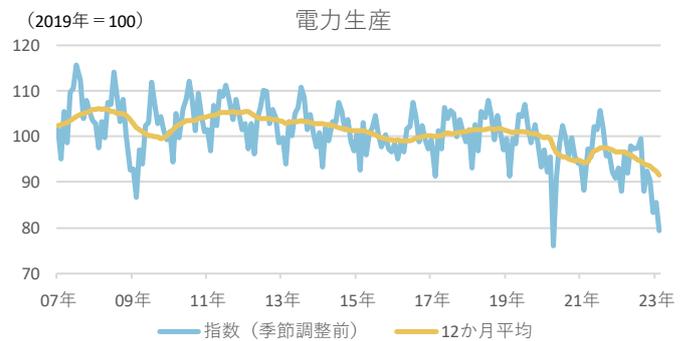
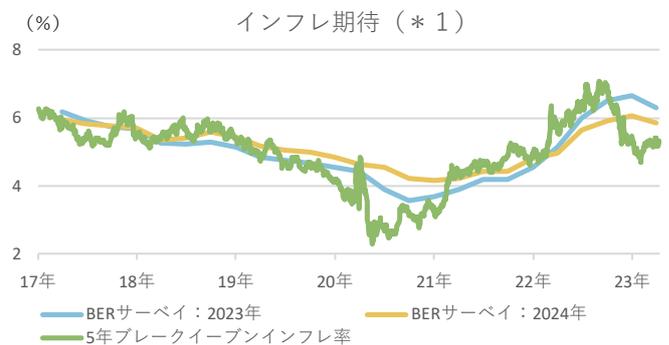
(資料: 南アフリカ統計局/ブルームバーグ)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

南アフリカ為替週報

2023年4月13日 | みずほ銀行欧州資金部

<主要経済指標の推移>



- * 1 : BERサーベイは南アフリカ経済調査局 (Bureau for Economic Research) による四半期ごとの調査。経済アナリストや企業などが調査対象となっている。ブレイクイーブンインフレ率は物価連動国債から算出される、市場が推測する期待インフレ率。
- * 2 : 月次データ。ただし、2023年4月は1日から11日までの累計値。

(資料 ; 南アフリカ準備銀行/南アフリカ統計局/南アフリカ経済調査局/ヨハネスブルク証券取引所/ブルームバーグ/みずほ銀行)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。